



いぶき

いぶき 第31号
発行者 井上 一
編集 患者サービス向上委員会
香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
TEL (0877)23-3111
FAX (0877)24-1147
季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

私が昨年3月に労災病院主催の公開健康講座で、婦人科検診のすすめについて講演を行つてから早一年となりましたが、今一度講演内容について振り返つてみたいと思います。子宮癌には頸癌と体癌がありますが、ともに早期発見には検診が非常に有効です。

特に子宮頸癌は最も集団検診に適した癌と言われています。子宮頸癌の死亡率は検診の普及とともに減少しましたが、最近は横ばいです。子宮癌検診の受診率も最近は2割弱で横ばいなので、検診率の増加が低迷していることも死亡率低下が横ばいになつている一因かもしれません。

子宮頸癌の発癌の主な原因はヒトパピローマウイルスの長期

皆様こんにちは、労災病院産婦人科の大倉です。



子宮頸癌は若年者から高齢者まで幅広く発症しますが、子宮頸癌は性生活の開始年齢の早期化に伴い、最近では、より若年者からも発症するよ

うに持続感染と言われています。ヒトパピローマウイルスは性交渉によってうつるため、性生活開始後の人には婦人科検診を受けた方が良いと言えます。

子宮頸癌になりやすい人は、多産、セックスパートナーが多い人、性交渉開始年齢の早い人、ピル服用者、喫煙者、免疫力の低下している人と言われています。

また子宮体癌は女性ホルモンのバランスがくずれる閉経期前後に多く発症します。子宮体癌になりやすい人は、初潮が早く

第二産婦人科部長 大倉 磯治

ら性交渉のある人は若い頃から検診を受けることをお奨めします。



■備讃瀬戸海上交通センター

宇多津町青野山の中腹にあり船舶が安全に航行できるよう情報提供している。

この検診結果のクラス番号と子宮癌の病状進行期の0期、I期、II期、III期、IV期とを混同されています。

また検診結果が異常（クラスIII以上）であっても、必ずしも癌が存在するわけではありません。

閉経が遅い人、出産経験の無い人、肥満の人、乳癌治療薬のタモキシフエンを使用している人と言われています。子宮頸癌も体癌も、ともに検診により早期発見が可能ですので、リスクのある人は、より積極的に検診を受けましょう。

香川労災病院の理念
働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

子宮癌検診結果の意味すると
ころは、細胞診クラスIとクラ
スIIは癌に関しては異常なし、
クラスIIIは前癌病変の可能性が
ある、クラスIVは初期癌（上皮
内癌）の可能性がある、クラス
Vは浸潤癌の可能性があるとい
う推定の結果なのです。ですか
らクラスIII以上の異常が認めら
れた人は、病変状態を確認する
ために少しの組織を取つて調べ
る二次検査を受けることになり
ます。

初期癌（上皮内癌）や前癌病変
であれば治療も軽くて済むし、
ほぼ一〇〇%治ります。だから
こそ子宮癌検診を若い頃から定
期的に受けて、初期癌や前癌病
変の段階で見つけて早期に治療
することが大切なのです。

しかし、子宮癌検診受診率
は欧米では8割以上なのに日本
では2割弱と非常に低く、
加えて検診の受診者は毎回同
じ人ばかりで、新規に受診す
る人が少ないので日本の婦人
科検診の問題点と言われてい
ます。

そのため癌検診は未受診者
に検診の意義や日程を知らせ
て、新たに受診させることが
非常に大切なのです。

だから、皆さん声をかけあつ
て婦人科検診を受診して下さ
いね。

最近忘れっぽくなつて…

栄養管理室長 平田 邦江

「最近物忘れがひどくなつ
て」、「年かしら」、「あら、子供
の頃宿題や給食袋忘れなかつ
た?」、「言われてみればそうね
え」、「でも、物覚えが悪くなつ
たのは確かよ」、「そう言えば、
40歳頃から加齢とともに”老
人斑”といつて、アミロイドβ

たんぱく質という物質が脳内に
蓄積し、記憶力や認知機能の低
下を引き起こすと言わっている
のを聞いたことがあるわ。それ
に認知症のおよそ半分を占める
アルツハイマー病が増加してい
るそうよ」、「その”老人斑”的
形成を防ぐ方法はあるの?」

“老人斑”を減らすには、食
事や運動を中心とした生活習
慣、生活環境による予防が注目
されています。

○”老人斑”を減らす生活習慣
○必要以上にエネルギーをと
り過ぎない

○低脂肪の食事を心がける
○青魚に含まれるDHA・I
PAを積極的に入る

その他、緑茶などに含まれる
カテキン、うこんに含まれるク
ルクミン、ブロッコリー、ほう
れん草などの緑黄色野菜、お茶
やのりに含まれる葉酸、オリー
ンザA型、一昨年にはノロウイルスの

ブ油、ごま、ごま油などが効
果的。

○運動するだけでも”老人
斑”的形成は抑制される
○豊かな環境の中で、外に出
て、遊んだり、多くの人と
接し刺激をうける

二 “脳健”をつくる

○活性酸素の働きを抑制する

β-カロテン（緑黄色野菜）

○血流をよくするビタミンE

（緑黄色野菜、ごま）

○脳の神経伝達物質をつくる
レシチン（卵黄のほか、大
豆や、納豆、豆腐などの大
豆製品）

三 脳の栄養は血液中のグル コース（血糖）

グルコースの体内貯蔵量はせ
いせい半日分。ですから、三食
規則正しくバランスよく食事を
とることはとても重要です。特
に脳は午前中が最も活動しやす
いリズムを持っているので、朝
食はかかせません。

一口30回、ゆっくりよく噛
んで食べることは、脳を活性化
する効果だけでなく、転倒予防
にもつながるそうです。もちろ
ん、噛めば噛むほど唾液の量は
増え、唾液の多様な効果は良く
いね。

知られています。
もう、春です。

運動の習慣をつけたり、催し
物への参加、趣味を始めるには
良い季節です。さあ、行動を開
始しましょう。マイペースで。

「そうね、私達も今から脳のト
レーニングと、食生活の見直し
と一緒に始めようか。気持ちの
ゆとりを持つてやれるところか
ら、「そうねえ。楽しい、豊か
な人生を送りたいものねえ。」

香川労災病院 ICTの役割紹介

感染管理認定看護師 塚田由美子

ICTは、Infection=感染
Control=制御 team=チームの

略で院内感染の発生を制御する
実戦部隊です。

院内感染は、人から人に病原
菌が伝播して起りますが、そ
の割合は全体の40%くらいで
す。後の60%の院内感染は、
患者様がもともと持っている菌

が原因となり、手術
やカテーテル挿入な
ど侵襲的な操作や、
免疫力の低下によっ
て引き起こされま
す。ICT最大の役
割は、院内感染の発
生の状況をリアルタ
イムに把握し、院内
感染が減少するよう
感染対策の支援をす
ることです。



新任医師紹介



外科医師
渡辺 信之

平成20年8月より当院外科に赴任してまいりました渡辺信之です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は香川県高松市出身で、岡山大学を卒業後、平成13年に岡山大学第一外科に入局し、岡山大学医学部附属病院、香川労災病院、松山市民病院で外科研修を行いました。その後は岡山大学大学院で医学研究を行いつつ、医療資源の大変不足した地域での医療にも携わってきました。現在は消化器外科全般、救急疾患の診療を中心に行っています。

最近の外科領域においては腹腔鏡、胸腔鏡を用いた鏡視下手術の普及により、従来よりも体

にやさしい手術ができるようになつてきており、当院でも積極的に行ってています。

やんちやざかりの息子の相手でこの頃寝不足の日々が続いておりますが、地元の病院で医療に携われることに喜びと責任を



分析器(BDフェニックス)

感じながら、今後も皆様に安心して医療を受けていただけるよ

う日々努力邁進していきたいと思

新しい分析器で細菌検査スタート

検査科技師長 影山 洋吉

二〇〇九年二月一日から、細菌検査室でBDフェニックスと

言う新しい分析器が稼動してい

ます。

この機器は検査技師が分離した細菌の同定や感受性検査を速やかに実施してくれるため、より早くかつ正確な検査結果を医師に提供することができるようになります。

さて、細菌の同定検査や感受性検査とはどのような検査なの

でしょうか。

いま、ここに一つの細菌がい

るとしています。細菌も生き物なのでいろいろな特徴や性状を持っています。甘いのが好きとか酸っぱいのが好きとか塩辛いのが好きとか、このような沢山の特徴や性状を確かめて行くことによって、この細菌の菌名を突き止めることができるのです。これを同定検査といいます。現在地球上で確認されている細菌は六千八百種もいるそうです。

私たち検査科はこうした最新の機器を駆使して、これからも迅速に正確な検査結果を提供することに努めてまいります。

目薬の使用方法

薬剤部 豊田 幾代

様々な目の病気の治療に使われる目薬。身近で手軽なイメージのあるお薬ですが、その正しい使用方法は意外と難しいものです。そこで今回は目薬の使用方法と注意点についてご紹介します。

目薬は無菌（細菌等が全く含まれていない）のお薬ですから、清潔な状態で使用しなければなりません。そのため、使用前に

は手を洗い、点眼時には目薬の先が目に触れないようにする事が重要です。また、細菌繁殖を防ぐという観点から、冷所または日の当たらない涼しい所で保存する必要があります。目薬の種類にもよりますが、開封後1か月を過ぎた物は変質の可能性があるのです。

さて、1回の点眼量は何滴が良いでしょうか？目薬1滴の量は

30～50μl、これに対して目に使おうとしている薬が、効くのか効かないのか、その薬効を調べる検査を感受性検査といいます。

どちらも細菌検査の中では重要な検査です。

以前は一つひとつの確認を検査技師が全て手作業で行っていたため、判定まで時間がかかりましたが、今では、この分析器が数種類の確認作業を一度にしてくれますので、判定までの時間を短縮することができます。

私たち検査科はこうした最新の機器を駆使して、これからも迅速に正確な検査結果を提供することに努めてまいります。

最近、コンタクトレンズの普及により、レンズを装着したままの点眼でレンズの変形や角膜障害の原因になることがあります。レンズや目薬の種類にもよりますが、一般的にはレンズを外して点眼し、15分以上たつてからレンズを装着するのが良いでしょう。

薬を正しく使用する為に、何かご不明な点があれば医師または薬剤師にご相談下さい。

外来診療予定表

診療科	時間・診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	一診	多田	永田	多田	荒木
		二診	荒木	吉田	藤井	滝本
		三診	寺西	石原	石原	寺西
		四診			滝本	
		五診	西	山下	三村	後藤
循環器科	午前	一診	松浦(予約)	渡邊(初診)	植木(予約)	水尾(初診)
		二診	植木(初診)	水尾(予約)	松浦(初診)	渡邊(予約)
	午後			ベースメーカー(第2、第4)		
外科	午前	一診	村岡	津村	立本	村岡
		二診	小林	立本	國土	渡辺
		三診			母里	
	午後		呼吸器 津村	肝・胆・膵 国土	※乳腺 村岡・小林・渡辺	
整形外科	午前	一診	横山	善家	横山	前原
		二診	生熊	森谷	布施	森谷
		三診	前原	高田	生熊	善家
	午後	リウマチ外来		リウマチ外来		
リハビリテーション科	午前	高田	田村	高田	生熊	高田
形成外科	午前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中
脳神経外科	午前	一診	藤本	吉野	合田	藤本
		二診	柚木	合田		吉野
泌尿器科	午前	一診	西	西		西
		二診	水野	水野	水野	水野
産婦人科	午前	一診	川田	大倉	川田	木下
		癌検診	木下	木下	大倉	木下
	午後	産科予約検診	大倉		木下	川田
		産後検診				交代制
眼科	午前	一診	小見山	小見山	小見山	小見山
		二診		國土	國土	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	午前	一診	平田	森下	森下	森下
		二診	苅田	平田	苅田	平田
	午後			腫瘍外来		
放射線科(放射線治療)		三谷(予約のみ)		三谷(予約のみ)		
歯科口腔外科	午前	一診	池田	池田	池田	池田
		二診				松村
麻酔科(ペインクリニック)	午前	一診	北浦	鈴木	北浦	戸田
		二診	大西			北浦
ストマ外来	午前		看護師(午前中)		看護師(午前中)	

※メンタルヘルス科は平成21年3月から休診いたします。

健康診断センター

日帰りドック	1日20名	火、水、金曜日	海外派遣労働者の健康診断	随時
一般健診	1日20名	月、木曜日	特殊健康診断	随時
脳ドック	1日1名	月、火、木曜日	振動障害健康診断	1名 月曜日
雇入時の健康診断	1日20名	月2回	健診車による出張健診	月～金曜日
定期健康診断			丸亀市住民検診	月～金曜日

※全ての健診は予約が必要です。※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

香川労災病院時代の想い出

そのI—序曲

香川労災病院名誉院長 原田 英雄



このたび 香川労災病院季刊広報誌「いぶき」の編集部から
「病院勤務時代の相
い出」について4回
連載の原稿を書くよ
うに依頼された。

私は第4代病院長
として平成10年12月
1日から同17年7月
31日まで勤務させて
いただいた。

懐かしい想い出は
語り尽くせぬほどあ
るが、先ずは「いぶ
き」にまつわる想い
出から始めたい。

「いぶき」の創刊
は平成13年9月1日
であるが、創刊号を
見ると、当時の心の
躍動が今でも鮮明に
甦る。“時代が変わ
る、医療が変わる、
病院が変わる。われ
われも変わろう”を

会が編集担当を引き受けてくれた。

次に、広報誌名については職員から募集することになった。多数の応募の中から選ばれた名前が「いぶき」で、名付け親は助手の二人であった。命名理由は、それぞれ“患者さんの支えになっている”“エネルギーに溢れるイメージがある”ということであった。この背景には、病院玄関の入口右側に石のモニュメント「いぶき」（速水史朗先生作）があり、日頃から患者・家族や職員に勇気を与えていた事実がある。通りすがりに此の彫刻の頭をなでる人が多いそうである。

創刊号の編集後記に、”将来的には患者・家族の希望・要望を取り入れ、患者・家族と病院を結ぶ広報誌として今後さらにお充実を図りたい”と書かれており、当時の意気込みが伝わってく

後日、題字を書く役割が私にまわってきた。小学校時代にあつた習字の時間以来初めて持つ筆である。

逃げることはできないと覚悟して、渾身の力をふりしぼつて一気に書いた。できあがつた創刊号を見て驚いた。縦書きしたはずの題字「いぶき」が横書きになっていた。書き直すのは気の毒と、当時の後藤庶務係長が一字ずつ切り離して再び横に貼り直してくれた事が後日判明した。心温まる配慮を感じたエピソードである。

「いぶき」の創刊によつて、年報としての役割を担う「香川労災病院雑誌」、訪問看護・訪問診療の情報を掲載した月刊誌「あすか」、およびホームページの充実とともに病院の情報発信能が格段に向上した。この二連の動きは、職員の底力を感じたうれしい想い出である。

次の想い出は私の香川労災病院長就任時まで遡る。平成9年には岡山大学医学部において研究、教育、診療に明け暮れたいた。

ある日、当時の香川労災病院長である西本 詮先生が臨床検査医学講座の教授室に訪ねて来られ、香川労災病院長就任への

お誘いを受けた。当時はまだ大学生活に未練があり、加えて、第56回日本消化器内視鏡学会総会会長に指名され、翌10年に岡山市で学会を開催すべく精力的に準備を進めている最中であつたので定年以前の退職など思いもよらず、丁重にお断りした。

しかし、畏敬する先輩名誉教授にその後も繰り返しお訪ね頂く熱意に動かされ、また、母教室である岡山大学第二内科学講座・原田美根教授の強いお勧めもあって、ついにお受けさせて頂く決心をした。

第二内科学講座前教授の木村郁郎先生にもご了承をされる予定であつたので、すぐぐにでも就任をという御要望であったが、最終的に学会の大役を果たし終えた直後の12月1日からという事になつた。

振り返れば、これが大学生活とは違つた意味で充実した第二の人生に移る序曲になつたわけで、今は懐かしい想い出である。



●労災病院周辺で見られる鳥●

オナガガモ

薬剤部副部長 吉村 正則

秋から春にかけて普通に見られるカモの一種。都会では人慣れしている公園も多いので、丸亀城でも身近に見られる日も近いと思われる。

漢字で書くと尾長鴨。雄雌共に他のカモに比べて尾が長いので遠くても分かり易い。

当院では平成18年に地域がん診療拠点病院の指定を受けたことにより、その設置が義務付けられている相談支援センターを「医療・看護相談センター」として設置し、医療・看護相談、セカンドオピニオン外来の相談をお受けしています。

〈医療・看護相談センター〉

医療・看護相談センターでは、患者様やご家族が、がんの治療を受ける上での不安や悩み、療養生活や仕事のことについて気軽に相談して頂けます。

医師、事務系職員、ソーシャル

「医療・看護相談支援センター」紹介

医事課

ワーカー、看護師がご相談を受け、一緒に対策を考え問題解決のお手伝いをさせて頂きます。ご相談は相談センターに直接お越しいただく方法と、電話・メールでお話を伺う方法があります。

お困りの事があれば気軽にご相談下さい。

〈セカンドオピニオン外来〉

セカンドオピニオンとは直訳すると「第二の意見」ということです。

具体的には診断や治療方針について主治医以外の医師の意見

のことをいいます。「手術を勧められたけどどうしよう」など重大な決断をしなければならないとき、他の専門医に相談したいと思うのは当然のことです。

セカンドオピニオンは「主治医に失礼になるのでは」と思われがちですが、その心配はまったくありません。インフォームド・コンセント（説明と同意）という考え方を理解している医師であれば、治療法を決定するのは患者様やそのご家族であることを十分認識しています。

当院でのセカンドオピニオンを受けたい方、当院から他の病院へセカンドオピニオンを受けたい方、その他、ご相談下さい。

お知らせ

●公開健康講座

日 時

3月19日(木)
14時～15時30分

場 所

香川労災病院管理棟
会議室

内 容

高血圧の診断と治療

参 加 無 料

編集だより

患者サービス向上委員会
高嶋由利子



3月弥生、暦の上では春ですね。厳しかった冬がようやく過ぎ、やがて色鮮やかな花たちが競って咲こうとする頃になりました。

四季の中でも春は何か新しい事が始まりそうな予感、去年とは違う新鮮な息吹きを感じる予感がします。

昨年末から今年始めにかけて大きな社会問題がありましたが、私達はこの社会の大きなねりの中でも決して方向を見失う事無く、自分達の為すべき事をしつかり見定めて前進して行きます。今年もがんばるけんな」「いぶき」をよろしくお願ひします。

●医療・看護相談支援センター

TEL: 0877-23-3111(内線3100)

e-mail : syomu@kagawa.H.rofuku.go.jp

受付時間 月曜日～木曜日 9時～17時

金曜日のみ 9時～16時(祝祭日を除く)

●セカンドオピニオンの電話でのお問い合わせ

TEL: 0877-23-3111(内線3100)

受付時間 月曜日～金曜日 13時～16時(祝祭日を除く)